

教科目名 国語総合 (General Japanese)

学科名・学年 : 全学科 1 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 相本正吾

授業の概要			
現代文(評論文・随想・小説・現代詩・短歌・俳句川柳)及び古文・漢文を読み, その読解・鑑賞・内容に関する文章作成や意見交換を行う。また, 日本語表現力の向上に向けて「言語活動編」として, 作文や, 発表・討議も行う。漢字練習帳の分を試験範囲とした「漢字の小テスト」を二〜三週間ごとに行い, 漢字・語句の力を身につける。年二回, 授業で文学作品や文章の創作を行う「創作大会」を実施する。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(C1)
(1) 現代文(評論文・随筆・小説・詩・短歌・俳句川柳)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎を身につける。(定期試験, 提出課題)			
(2) 古文・漢文・漢詩の読解の基礎力を身につける。(定期試験, 小テスト)			
(3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける。(課題ノート, 提出課題, 発表)			
(4) 常用漢字・慣用語・四字熟語・文芸用語・評論文用語の力をつける。(定期試験, 漢字の小テスト, 小テスト)			
回	授業項目	内 容	理解度の自己点検
1	現代文(1)	○詩(1)を読解する。※, 冒頭でガイダンスを行う。	【理解の度合い】
2	現代文(2)	○小説(1)を読解する。近現代の主な作家を確認する(1)。	
3	現代文(3)	〃 . 文芸用語を修得する(1)。	
4	表現(1)	○表現の実践(1) — 各班でスピーチを行う。	
5	現代文(4)	○随想(1)を読解する。	
6	現代文(5)	○評論文(1)を読解する。評論文用語を修得する(1)。	
7	表現(2)	○表現の実践(2) — 通知文と案内状を書く(1)。	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	中間試験の解答と解説 現代文(6)	○短歌俳句(1)を読解・鑑賞する。主な季語を確認する。	【理解の度合い】
10	古文(1)	○説話を読む。古文を読む基礎事項を確認する(1)。	【試験の点数】 点
11	古文(2)	○随筆を読む。日本古典文学史を学ぶ(1)。	
12	表現(3)	○創作大会(第一回)を行う。	
13	漢文(1)	○故事を読む。漢文を読む基礎事項を確認する(1)。	
14	漢文(2)	○唐詩を読む。漢詩を読む基礎事項を確認する。	
15	前期期末試験		
	期末試験の解答と解説		
16	現代文(7)	○随想(2)を読解する。	【理解の度合い】
17	現代文(8)	○小説(2)を読解する。近現代の主な作家を確認する(2)。	
18	現代文(9)	〃 . 文芸用語を修得する(2)。	
19	表現(4)	○表現の実践(3) — 各班でディベートを行う。	
20	現代文(10)	○評論文(2)を読解する。評論文用語を修得する(2)。	
21	現代文(11)	○詩(2)を読解する。近現代の主な詩人を確認する(1)。	
22	表現(5)	○表現の実践(4) — 意見文を書く。	
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	中間試験の解答と解説 現代文(12)	○短歌俳句(2)川柳(1)を読解する。主な歌人俳人を確認する(1)。	【理解の度合い】
25	古文(3)	○詩歌を読む。古文を読む基礎事項を確認する(2)。	【試験の点数】 点
26	古文(4)	○物語を読む。日本古典文学史を学ぶ(2)。	
27	表現(6)	○創作大会(第二回)を行う。	
28	漢文(3)	○史話を読む。漢文を読む基礎事項を確認する(2)。	
29	漢文(4)	○「論語」を読む。	
30	後期期末試験		
	期末試験の解答と解説		
履修上の注意		用いたプリントは試験の範囲になることもあるので, 保管しておく。	【総合達成度】
教科書		「新編国語総合」(東京書籍), 課題ノート「学習課題ノート」(東京書籍)	
参考図書		「新総合図説国語」(東京書籍), 「新版パーフェクト 常用漢字」(第一学習社)	
自学上の注意		課題ノートやプリントを用いて授業の予習復習を心掛けること。	
関連科目		現代文, 地域日本文学, 日本語表現法	
総合評価		達成目標(1)~(4)は定期試験, 課題ノート, 提出課題, 小テストで評価する。総合評価=定期試験の平均点×0.8+課題点(20点満点)。総合評価が60点以上を合格とする。再試験は総合評価が60点未満の者に対して実施する。	
			【総合評価】 点